
那覇市コロナ期観光回復戦略 ～進捗評価・令和4年度実施方針～

令和4年5月23日
那覇市観光課

1. 那覇市コロナ期観光回復戦略について

2. 令和3年度実施状況について

3. 進捗評価・R4年度実施方針

ア 市民・観光客双方が安全安心な観光地

イ 観光関連産業に対する支援

ウ 新しい旅行スタイルの取り込み

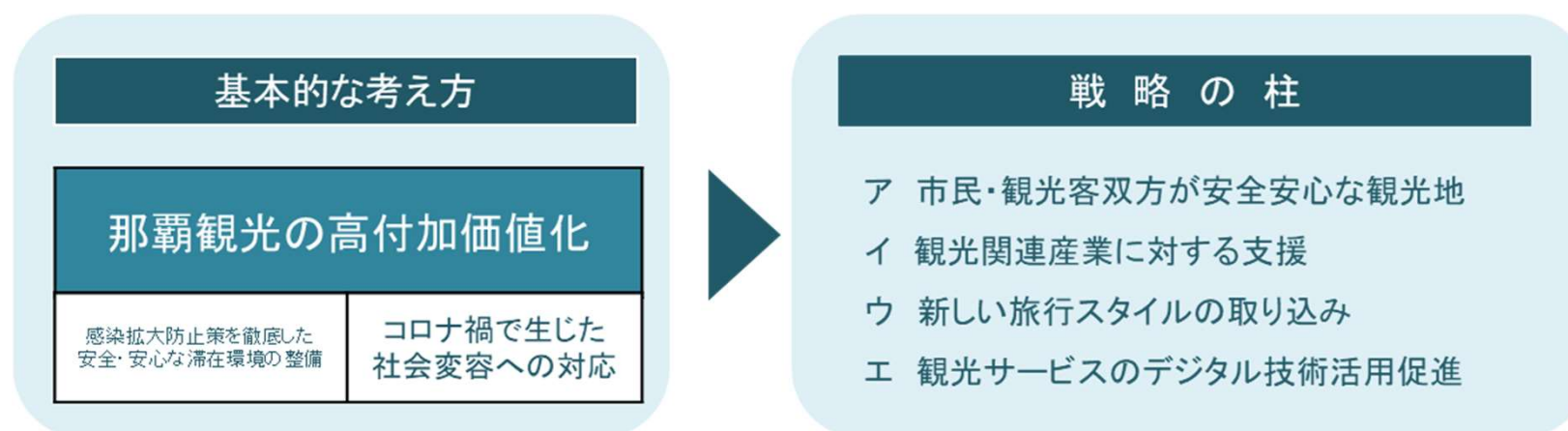
エ デジタル技術活用促進

1. 那覇市コロナ期観光回復戦略について

○戦略の目的

本市観光関連産業への支援や誘客活動などによる観光回復を牽引する観光施策の当面の方向性を示すため、令和3年11月に「那覇市コロナ期観光回復戦略」を策定しました。

○基本的な考え方と戦略の柱



2. 令和3年度実施状況について

那覇市経済観光部内の実施事業・取り組みをまとめたものです。

戦略の柱	関連事業・取組数		事例
ア 市民・観光客双方が安全 安心な観光地	ア-(1)観光客に対する感染対策実施の周知	1	読売巨人軍春季キャンプの実施
	ア-(2)市民・観光関係事業者の感染拡大防止対策	1	
イ 観光関連産業に対する支援	イ-(1)消費・宿泊需要喚起	5	● 市内宿泊・観光体験等促進クーポン事業（那覇とまーるクーポン） ● 市内貸切バス事業者支援事業 ● 那覇市商店街誘客促進事業補助 ● 那覇市コロナ対策事業刷新支援事業 ● 那覇市地域消費促進事業（なは買エール商品券）
	イ-(2)事業継続支援・応援給付金	6	
	イ-(3)新たな観光コンテンツ創出支援	0	
ウ 新しい旅行スタイルの取 り込み	ウ-(1)県内旅行の推進	1	● 那覇市テレワーク推進施設開設支援事業 ● 那覇市テレワーク施設活用促進支援事業
	ウ-(2)都市型ワーケーションなどの滞在型旅行の促進	2	
	ウ-(3)都市型MICE受入の推進	0	
エ デジタル技術活用促進	エ-(1)観光関連事業者のデジタル技術活用を促進	0	那覇市観光統計調査の手法検討
	エ-(2)デジタルマーケティングの推進	0	

※1つの事業が2つの戦略の柱に重複することがあり、合計数とは一致しない。

3. 進捗評価・R4年度実施方針

戦略の柱 ア 市民・観光客双方が安全安心な観光地

アー(1)観光客に対する感染対策実施の周知

進捗状況	● 感染拡大防止の観点から多くのイベントが中止となる中、読売巨人軍春季キャンプを有観客で実施した(2/14～28)。 ● 実施に際して、球場内にて観覧する方には専用アプリなどを活用し「来場者登録」を実施。 ● また、オープン戦実施時には来場者全員に手指・座席消毒用の除菌シートを配布、注意事項(マスク着用や席エチケット、人との距離確保、観戦後のチケット保管等)を呼びかけるアナウンス放送などを実施。 【参考】 <table border="0"> <tr> <td>入場登録者数</td><td>18,720名(実入場者数16,004名)</td></tr> <tr> <td>アプリ</td><td>3,755名</td></tr> <tr> <td>WEBフォーム</td><td>9,359名</td></tr> <tr> <td>紙登録</td><td>5,606名</td></tr> </table> 【スマートフォンをお持ちの方】 	入場登録者数	18,720名(実入場者数16,004名)	アプリ	3,755名	WEBフォーム	9,359名	紙登録	5,606名
入場登録者数	18,720名(実入場者数16,004名)								
アプリ	3,755名								
WEBフォーム	9,359名								
紙登録	5,606名								
評価	読売巨人軍や沖縄県等と連携し、可能な限りの感染対策を実施した上で2年ぶりの有観客のスポーツキャンプを実施し、今後のウィズコロナ時代におけるイベント開催の一つの事例となったと評価している。								
R4年度方針	令和4年度はコロナ対策に万全を期した上でイベントを開催できるよう、イベント毎の会場や規模などの性質に応じた対策を立てられるよう主催者や実行委員会等と連携して検討する。								

3. 進捗評価・R4年度実施方針

戦略の柱 ア 市民・観光客双方が安全安心な観光地

ア－(2)市民・観光関係事業者の感染拡大防止対策

進捗状況	商店街や通り会の規模に応じ、誘客を図ろうとする取組に支援していたところ、アルコール消毒やマスク等を購入し感染防止対策を図る感染防止対策補助メニューを追加したところ多くの申請があった。
評価	補助メニューを活用した商店街や通り会等からは感染防止対策に取り組むことができた喜びの声をいただいたこともあり、感染拡大防止に一定程度寄与したと考えている。
R4年度方針	事業者の感染拡大防止に資する資器材調達の支援について、関係団体等の意見等を踏まえつつ、要望があれば支援について検討する。

3. 進捗評価・R4年度実施方針

戦略の柱 イ 観光関連産業に対する支援

イー(1)消費・宿泊需要喚起

進捗状況	● 市民や県民のマイクロツーリズム促進の観点で「市内宿泊・観光体験等促進クーポン(那覇とまーるクーポン)」「市内貸切バス事業者支援事業」を実施し、旅行需要を喚起に繋げた。 ● イベントや会議の自粛、在宅勤務等により個人消費が落ち込み、飲食業や小売業、サービス業などで売上減少等の影響が生じていたため「那覇市地域消費促進事業(なは買エール商品券)」を実施した。 ● 商店街等への誘客に繋がる取り組みを支援した「商店街誘客促進事業」。
評価	● 「市内宿泊・観光体験等促進クーポン(那覇とまーるクーポン)」は令和2年度に続く実施となり、市民・県民の認知度も高まっていたことから利用開始から早い段階でクーポン受付を終了する状況であるなど、一定の効果があった。 ● 「市内貸切バス事業者支援事業」の利用者からは好意的な意見が多く、補助を利用することで遠方への使用にしたり、コロナ対策で増車して利用するなど、事業者支援にもつながった。 ● 「那覇市地域消費促進事業(なは買エール商品券)」は発行総額約11億円であり、商品券利用率が99%を超えたため事業目的の消費喚起に繋がったと考えている。 ● 補助メニューを活用したイベント開催件数は5件(1件はまん延防止措置期間により中止)。イベントには多くの人々が訪れたと報告があり、誘客に繋がった。
R4年度方針	国・沖縄県の支援事業を前提に、那覇市としてさらなる消費喚起を実施するか、関係団体等の意見を踏まえ検討していきたい。

3. 進捗評価・R4年度実施方針

戦略の柱 イ 観光関連産業に対する支援

イー(2)事業継続支援・応援給付金

進捗状況	● 雇用を守り継続していくための待遇改善・福利厚生充実の応援給付「那覇市『雇用を守る』事業者支援事業」や、雇用を守ることを目指しながら、新たな取り組みに対する支援「那覇市コロナ対策事業刷新支援事業」を実施した。 ● PR活動・情報発信から購入までを繋げる仕組みを構築する「那覇の名産品・特産品魅力発信事業」を実施し、本市名産品・特産品のブランド力向上、消費拡大に取り組んだ。 ● 収入減少による商店街・通り会の存続、会員店舗の事業継続を支援するための「那覇市商店街活動支援補助金」を実施した。 ● 県外参加者も含め3万人規模の大きなイベントであるNAHAマラソンの大会を継続して次年度へつなげていけるよう、代替イベントの支援を行った。 ● 「市内中小企業経営実態調査」を実施し、事業者が抱える経営課題や支援ニーズについて把握。適切な振興施策立案に役立てる。
評価	● 事業刷新支援事業は想定申請件数(15件想定、実績20件)を超え多くの支援ができたと評価する。「雇用を守る事業者支援」は、申請が想定に達せず、給付率は想定に近い87%であったことから、一定程度支援ができたと評価している。 ● 「那覇の名産品・特産品魅力発信事業」の売り上げ目標は達成できなかったが、購入者の75%が県外利用者であり、県外向けの消費拡大に効果あった。 ● 商店街活動支援補助金は、給付に対して喜びの声をいただいた一方、中心商店街以外の商店街からの申請が想定件数に及ばなかった。 ● NAHAマラソン協会の体制維持、ジョガーのモチベーション維持に効果的だった。 ● 実態調査は、前回より回収率を向上させ、より精度の高い調査ができた。
R4年度方針	関係団体等からの意見を踏まえ、実態や課題、高いニーズに合った施策展開につなげる。

3. 進捗評価・R4年度実施方針

戦略の柱 イ 観光関連産業に対する支援・ウ 新しい旅行スタイルの取り込み

イー(3)新たな観光コンテンツ創出支援

進捗状況	実施事業なし
評価	—
R4年度方針	事業者が連携して取り組み、早朝・夜間におけるコンテンツ開発に係る費用を支援する「早朝・夜間における活動時間創出支援事業」を実施し、観光客等の市内消費額の増加を目指す。

ウー(1)県内旅行の推進

進捗状況	イー(1)消費・宿泊需要喚起「市内宿泊・観光体験等促進クーポン(那覇とまーるクーポン)」に同じ
評価	イー(1)消費・宿泊需要喚起「市内宿泊・観光体験等促進クーポン(那覇とまーるクーポン)」に同じ
R4年度方針	イー(1)消費・宿泊需要喚起「市内宿泊・観光体験等促進クーポン(那覇とまーるクーポン)」に同じ

3. 進捗評価・R4年度実施方針

戦略の柱 ウ 新しい旅行スタイルの取り込み

ウー(2)都市型ワーケーションなどの滞在型旅行の促進

進捗状況	● テレワーク推進施設の整備・利活用に対する経費の一部を補助する「那覇市テレワーク推進施設開設支援事業」を実施。2事業者への補助金交付を決定した。 ● テレワーク推進施設に関するニーズの把握、分析、情報集約、プロモーション行う「那覇市テレワーク施設活用促進支援事業」を実施。施設の利活用や認知度向上を図り、関係人口の創出や域内消費額の向上へと繋げた。
評価	● 開設後、県外企業から8社進出が続いていることから、本市のテレワーク、ワーケーションの促進に寄与したと評価する。 ● 調査分析の結果からテレワーク施設利用可能性の高い企業を選定し、効果的に市内のテレワーク施設に関する情報の周知・PRができた。
R4年度方針	関係事業者等の意見や希望を踏まえつつ、支援について検討する。

ウー(3)都市型MICE受入の推進

進捗状況	那覇市観光協会等と意見交換を実施し、市内施設を活用した受入体制構築に向け検討を行っている。
評価	具体的な事業化にまで至っていないため、早い時期の体制構築の検討が必要。
R4年度方針	コロナ禍からの回復を見据え、民間事業者等と連携した受入体制構築を目指す。

3. 進捗評価・R4年度実施方針

戦略の柱 エ デジタル技術活用促進

エー(1)観光関連事業者のデジタル技術活用を促進

進捗状況	実施事業なし
評価	—
R4年度方針	国のデジタル関連施策の情報収集と、事業者への周知を検討。

エー(2)デジタルマーケティングの推進

進捗状況	次期計画策定時のデータ収集や、策定後の指標・目標値の進捗評価のためのデータ取得を想定し、観光入込統計調査の手法を検討。人流データ分析やSNS分析等を実施する事業者へヒアリングを実施した。
評価	—
R4年度方針	引き続きデジタルマーケティングに関する情報収集を実施。次期観光基本計画策定事前調査における調査手法として検討する。